

感染症センター

○慢性活動性 EB ウイルス感染症の病態解明とその展開

岡野素彦

平成 20 年度科学研究費補助金（基盤研究 C）研究実績報告書，北海道立衛生研究所，札幌，平成 21 年 3 月

慢性活動性 EB ウイルス感染症は，経過中リンパ腫の発生などをみる．主な病態のひとつとして，感染標的細胞や免疫不全の程度の相違が認められた．このことは，本症の診断や治療法の解明の一助になると思われる。

企画総務部

○地方衛生研究所（地方感染症情報センター）の視点からのサーベイランスの評価と改善

中野道晴

谷口清洲編，厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症研究事業）「効果的な感染症サーベイランスの評価並びに改良に関する研究」平成 20 年度総括・分担研究報告書，国立感染症研究所，東京，平成 21 年 3 月，pp.33-38

地方感染症情報センター機能の充実を図るために，インターネットを利用した定点医療機関からの患者情報報告のモデルシステム他の運用を行った。

健康科学部

○北海道内で流通する水産加工食品からの水銀摂取量評価報告書

西村一彦，高橋哲夫，桂 英二

北海道立衛生研究所健康増進科編，平成 19～20 年度一般試験研究 北海道内で流通する水産加工食品からの水銀摂取量評価報告書，北海道立衛生研究所，札幌，平成 21 年 3 月

水産加工食品 100 件の分析を行った結果，検出限界値 0.005 ppm で不検出～0.38 ppm，検出率 86%であった．暫定的規制値である 0.4 ppm を超過する試料は認められなかったが，比較的高濃度の総水銀濃度の試料が数件認められた。

○化学物質過敏症の発症要因解明と芳香療法による症状緩和（無作為化割付介入研究）

岸 玲子¹⁾，神 和夫，小林 智，西條泰明²⁾，吉岡英治¹⁾，湯浅資之¹⁾，荒木敦子¹⁾，渡辺一彦³⁾，河合俊夫⁴⁾，永滝陽子⁴⁾，静川あい子⁵⁾

岸 玲子編，平成 19～20 年度独立行政法人日本学術振興会科学研究費補助金（萌芽研究）研究成果報告書，北海道大学大学院医学研究科，札幌，平成 21 年 3 月

化学物質過敏症を疑い受診した患者 26 名の特性を検討した．その内 16 名に対して，アロマセラピーによる症状緩和の効果を検証した．不安症状への効果は明らかにはならなかったが，気分尺度（POMS）の改善が確認できた。

¹⁾北海道大学大学院医学研究科，²⁾旭川医科大学医学部，³⁾渡辺一彦小児科・アレルギー科医院，⁴⁾中央労働災害防止協会大阪労働衛生管理センター，⁵⁾F クリニック・ホクレアアロマ

○カルシウム，マグネシウムに関する実態調査

伊藤八十男，千葉真弘，伊藤雅喜¹⁾

松井佳彦編，厚生労働科学研究費補助金（地域健康危機管理研究事業）「飲料水の水質リスク管理に関する統合的研究」平成 20 年度研究報告書，北海道大学大学院工学研究科，札幌，平成 21 年 3 月，pp.98-108

浄水処理過程における消石灰添加のカルシウム濃度に対する効果を調査した．その結果，消石灰注入率とカルシウム濃度の変化がよく対応しており，水道水のカルシウム濃度の保持と制御に効果的であることが明らかとなった。

¹⁾国立保健医療科学院

○環境水中のクリプトスポリジウム・オーシスト汚染の低減化に関する研究

泉 敏彦，伊藤八十男，八木田健司¹⁾，遠藤卓郎¹⁾

環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室編，「公共用水域の人畜由来汚染による健康影響リスクの解明と規制影響分析に関する研究」平成 19 年度環境保全研究成果集（ENVIRONMENTAL RESEARCH IN JAPAN），60，1-3・37-43（2009）

これまでに，1）淡水性二枚貝のイケチョウガイは，水中のクリプトスポリジウムのオーシストを餌と共に体内に摂取